

新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.39	02	私と海老名 その3	
今号の表紙	03	市民の広場	11
HUGHUG子育て	04	ホール・ギャラリー	12
コミバス大谷・杉久保ルート		相談	13
運行経路を変更	08	図書館	14

「広報えびな」の共通マークとルール

日日時・日にち 期期間 時間 場場所 対対象 定定員  
 内内容 講講師 費費用 持持ち物 他その他 任任期  
 条条件 主主催 Eメール Hホームページ 問問合わせ  
 申申し込み 予予約制 祝祝除日を除く 休休み

高齢者対象の教室など えびな健康マイレージ対象

市制施行50周年記念事業

市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492勝瀬  
 175-1海老名市〇〇〇課行」と記入してください  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな



授業で学んだことに気をつけて書きました。  
 海老名小学校 藤野留衣さん(10歳)

写真

タイトル：桜  
 撮影場所：弥生神社  
 撮影者：国分北在住  
 花形晴雄さん



編集雑記

今回が初めての編集雑記で、何を書こうかと悩んでいたところ、今号の記事から愛犬の思い出がよみがえりました。動物病院で「帰ろう!」と訴える愛犬の顔が懐かしくて写真を見返しています。一緒に思い出話ができる祖父母にはコロナ禍で会えていません。あの頃の懐かしい話、新しい業務に携わることになった報告。次の休日に手紙を書こうと思います。(鈴)



世代を超えて、楽しく住める団地に

「50歳を目前に、仕事だけが人生じゃない」と始めた自治会活動でしたが、まさに正解でした。仕事で出会うことがない方たちとの会話が刺激になっていきます。歩いているとあいさつのできる人が増えました。さつき町自治会の会員は全員同じ団地の住民です。飯沼さんはその組織の副会長を約10年務め、平成27年からは会長になりました。熱心な活動ぶりに、本業の職場では「地元の活動の方が本業ですね」とからかわれるほど。「イベントをやってコミュニケーションを取ることが大事だと思っています。秋祭りや親子レク、新入学児童を祝つ会などを企画しています」。子どもたちを中心にして幅広い世代が触れ合える機会を設けていきたい一心です。

「楽しかった、ありがとう」の住民の声は飯沼さんの原動力。「コロナが収束したら新しいことも企画したい。建築士の知識も生かして、住み良い環境づくりに取り組んでいきたいです」と、団地の未来を見据えます。



代々続く新入学児童を祝つ会

趣味のドライブは安全運転で続けていきたい

今月のえび人

いぬまみつお  
 飯沼光雄さん  
 (さつき町在住・65歳)

さつき町自治会長兼海老名プラザ管理組合理事長。建築士。趣味は歩くことと車の運転。二足のわらじで忙しい中、近場のドライブで気分転換。